

平成31年度(令和元年) 上田市立塩田中学校 学校評価

学校目標		学校づくりの理念とめざす生徒の姿	総合評価				
1 充実した学習を積み上げる 2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心を伸ばす 4 豊かな心情を培う ～考える・鍛える・慈しむ～	☆生徒のよさを引き出し、可能性を広げる教育 ☆地域と共に歩む開かれた学校～しおだっ子応援団～ ＜めざす人間像＞ ふるさとに愛着と誇りをもち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間	・学校理念「地域と共に開かれた学校」を具現するために、地域の方々に支えていただきながら、日々の教育活動に努めている。 ・文化祭では、新校舎建築当時の生徒会が制作したDVDを視聴し、塩田中学校を支えてくださっている方々の思いや取り組み、支えを知り、ふるさと「塩田」への愛着を深め、「しおだっ子」としての誇りを高めた。 ・将来への希望や目標に向かって学習や学校生活、部活動に主体的に取り組める生徒がいる一方で、学校生活にうまく適応できなかったり、学習への不安や友だち、教師との関係に不安を感じたりしている生徒も見られる。アンケートの活用や教育相談を機会に生徒の背景にある思いを知り、相互理解を深めながらきめ細やかな支援を行っていく。授業改善への取り組みを継続し、集団の向上、自力解決力の向上に努めたい。 ・しおだっ子応援団(信州型コミュニティスクール)との連携を図り、教育活動の充実を努めていく。	A	B	C	D	改善策・向上策
	今年度の重点目標	成果と課題					
	①自分の考えを、状況に応じて書いたり話したり表現する力を付ける。	○昨年度まで“自らの学びを表現できる生徒の育成”を研究テーマに掲げ、表現できる生徒の育成を目標に授業改善や、話し合う場面や学習形態の工夫を図ってきたところ、今年度自分の思いや考えを伝えられる生徒が増えてきている。		○			・各調査結果を基に基礎学力の定着を図りながら、主体的な対話場面を定着させる授業改善に取り組む。学習形態や学習場面の工夫をし、場に応じた表現を豊かにする学習を模索する。また、互いに認め合う学習集団を育成する。
	②目標達成のために、最後まで粘り強く取り組む態度を育む。	△より自主的に取り組み、気付きを大切にしながら粘り強く取り組むことのできる生徒の育成に励む。			○		・あいさつ・清掃等、教職員自ら積極的な姿勢を示すとともに、生徒会活動と連携させる。 ・“あいさつ・清掃”が塩田中学校の伝統となるように、現在のよさを継続させていく。

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
学校教育	学習指導	課題が明確で生徒が活躍する授業	学習問題が明示され、生徒の活動の場が工夫されているか	○ユニバーサルデザイン化に基づいた教室環境や教具等の整備を図りながら、日常授業での工夫や、取り組みのよさ、生徒の頑張りを教職員間で共有してきたことで、日々の授業力向上につながった。授業に向かう生徒の意欲、関心に働きかけ、基礎学力の定着につながっている。				○	・教科研究会・公開授業参観等を通じ、教職員間が学び合う機会を確保する。 ・日常授業におけるユニバーサルデザイン化を推進し、効果的な取り組み共有・実践する。
		個に応じた学習	個々の生徒への配慮と支援が適切に行われているか	△個に応じた支援の在り方を検討し、全ての生徒が理解を深める授業改善に取り組んでいく必要がある。				○	・個に応じた支援の在り方について研修を通じて学んだり、生徒の思いを聞き取ったりしながら支援の内容やあり方を考える。
		教師の研修	教師の授業準備や授業展開は適切か	△家庭学習が、より自主的な学習になるよう、内容や取り組み方について検討し、支援を行う。				○	・年3回ある家庭学習充実週間を活用し、自ら追究する楽しさやよさを体得させていく。また、家庭学習の取り組みの様子について全校で紹介していく。
		家庭学習の充実	生徒の計画に基づき授業とリンクした家庭学習ができているか	○学校が支援をする体制を整えて迅速に対応することや、保護者の方との連絡、懇談を重ねることを通して、落ち着いた学校生活になるように努めている。				○	・職員と家庭との連絡・相談を大切にし、合意を図りながら連携して生徒指導、支援を行っていく。 ・各種アンケートや教育相談等から生徒の様子や思いを聞き取り、教職員間で連携して連携を行っていく。生活アンケート、学校評価については地域に発信し、意見を採り入れて改善に努めていく。
	生徒指導	適切な生徒理解	生徒の話をじっくり聞いて理解しようとしているか	○月1回毎、生徒にアンケートを実施し、学校生活の様子や悩みについて相談を行い、その実態をつかみ、指導の充実を図った。				○	
		生徒に寄り添った支援	状況をふまえた適切な支援が行われているか	△学習、友達関係、登校への不安等、生徒の気持ちに添って支援を続けていく。				○	
		心の内面に入り込んだ指導	個々の良さを認めながら生徒一人一人との対話が行われているか					○	
		状況に応じた生徒の心に落ちる指導	チーム体制で、一貫性のある指導が行われているか					○	
	生活指導	自信をもち、友や地域とつながる挨拶	挨拶の指導目標と手だてを明確にして取り組んでいるか	○経年継続的な指導、及び師弟同行を重ねていくことにより、あいさつ・清掃等、取り組みの充実が図られている。校外でも主体的にあいさつが行えるように努めていく。				○	
		自らを磨く無言清掃と美しい校舎	黙想で始まり時間いっぱい無言で清掃が行われているか	△個々の取り組みに注視し、さらにそれぞれが目的を持った清掃の取り組みができることよい。				○	・生徒自らの自主的な活動になるように、生徒会活動をさらに充実できるよう支援していく。 ・卒業生たちの思いや活動から、自分たちができていることを考えるようにし、生徒の主体的な活動を支援する。
		けじめのある時間厳守	チャイムで始まりチャイムで終わる授業・活動になっているか					○	
	教育課程	心を響かせる歌声	生徒が主体的に合唱活動に取り組める計画・支援が行われているか	○学年、学級で行う合唱は、文化祭を柱として発表する場や同学年・異学年交流の場があることにより互いに磨き合うことができ、より響きのある合唱になっている。				○	
美しさを感じる心を育てる花壇造り		環境ボランティアと連携して花壇運営が計画的にされているか	○しおだっ子応援団(信州型コミュニティスクール)の皆さんの支援により、花壇環境が整っている。四季折々の花々があることにより、教育環境の充実につながっている。				○	・生徒が主体的な活動推進ができるように、係・学年で計画を進める。 ・計画を基に見直しをもった推進・活動に努め、生徒会活動と環境ボランティアとの連携を図りながら、秋花壇の準備を進める。	
心身を鍛え技を磨く部活動		目的意識を持ち、生徒が主体的に取り組む部活運営が行われているか	△花壇造りでは、ボランティアのみならず、生徒・生徒会の主体的な係わり・活動が必要である。				○		
学校運営	地域との連携	積極的な授業公開と学習支援ボランティアの活用	開かれた授業、地域ボランティアの活用がされているか	○教科教育、および日常授業におけるユニバーサルデザイン化の公開授業を行い、授業改善に努めている。また学習支援ボランティアの方に入っていたり、個々に寄り添う支援を行っている。				○	・地域貢献学習(3学年)・職場体験(2学年)・塩田めぐり(1学年)・あいさつ運動(生徒会)等、地域に学ぶ活動を行っていく。
		開かれた学校づくり	学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校からの情報が発信できているか	○各種便り等で積極的に学校の様子を伝えている。				○	・学習ボランティアの連携を大切に、個々の生徒に寄り添う支援を継続させる。 ・学校や生徒の取り組みについて、積極的に発信をする。